

伊勢崎市議会議長 新井 智 様

会 派 名 伊勢崎市議会 翠晴クラブ
代 表 者 会長 小暮 笑鯉子

令和 元 年度政務活動費支出状況報告書（第2四半期）

伊勢崎市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、次のとおり令和 元 年度第2四半期（7月から9月まで）の政務活動費支出状況を報告します。

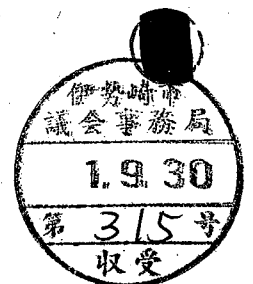
1 支出状況

（単位：円）

科 目	今期支出額	左のうち、 今期概算払受領済額	備考
調 査 研 究 費			
研 修 ・ 会 議 費	75,380	75,380	第1回概算払分
資 料 作 成 費			
資 料 購 入 費			
広 報 広 聴 費			
要 請 ・ 陳 情 活 動 費			
人 件 費			
事 務 所 費			
合 計	75,380	75,380	

2 交付限度額 420,000 円
 3 既交付額 224,128 円
 4 今期請求額 0 円
 5 未交付額 195,872 円
 6 添付書類

- (1) 領収書
- (2) 視察等報告書
- (3) 会計帳簿の写し
- (4) その他政務活動費の支出に係る証拠書類



令和元年度政務活動費会計帳簿

交付限度額	420,000
既交付額	224,128
支出額計	224,128

会派名： 翠晴クラブ

整理番号	日付	科目	内容	収入	支出	差引
1	4/8	広報広聴費	議会報告書作成及び新聞折込代		122,688	-122,688
2	5/24	研修・会議費	関東若手議員の会 東京研修(5/23・24)		17,960	-140,648
3	6/30	資料購入費	日本教育新聞購読料(4・5・6月分)		8,100	-148,748
4	7/25		第一四半期分入金	148,748		0
5	7/25		第1回概算払分入金(これからの日本の教育と福祉のあり方in東京)	79,000		79,000
6	7/30	研修・会議費	これからの日本の教育と福祉のあり方in東京(7/29・30)		75,380	3,620
7	9/20		第1回概算払精算による戻入	-3,620		0
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

令和元年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

6

会派名	翠晴クラブ	議員氏名	小暮 笑鯉子
支出年月日	令和元年7月30日(第2四半期)	支出額	75,380 円
按分した場合	(金額)	円 × (按分率)	% = 円
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備考	これからの日本の教育と福祉のあり方in東京(7/29~7/30)参加負担金、宿泊代、 *鉄道運賃等については、都内の移動分のみ計上とする。		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

領 収 証

翠晴クラブ 様 2019年7月29日
 小暮笑鯉子

★ **¥60,000**

但 7/29.30「これからの日本の教育と福祉のあり方」
 4講座 研修会受講代として

上記正に領収いたしました



一般社団法人地方議員研究会
 〒532-0004
 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
 TEL 06 (7878) 6297

No. [REDACTED]

発行日 2019/07/08 (月)

領収証

翠晴クラブ 小暮 笑鯉子 様

このたびは、ご利用誠にありがとうございました。
以下のとおり、領収いたしました。

金額 : 14,960円(税込)
(消費税別内訳 8%計算分 : 14,960円)

但し 宿泊代として

取引番号 : [REDACTED]

支払い方法 : クレジットカードにてご入金

株式会社 JTB ビジネスインベ
〒108-0075 東京都港区港南1丁目 [REDACTED] 号

本内容はインターネットを通じてお客様にデータとしてご提供したものです。

<<申込内容に関するご案内>>

宿泊施設名 : 三井ガーデンホテル京橋

チェックイン日 : 2019/07/29 (月)

※ ホケリ付なし

政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号

6

領収証 翠晴クラブ 様

ご利用日付 2019年07月29日
時刻 09時03分

取引内容：乗車券類
購入金額 金220円
お支払方法：内訳
現金 金220円

伝票番号 02226

- この領収証は大切に保存してください。
- 毎度ありがとうございます。

舞浜駅 券113発行
JR東日本

領収証 翠晴クラブ 様

ご利用日付 2019年07月30日
時刻 16時50分

取引内容：乗車券類
購入金額 金200円
お支払方法：内訳
現金 金200円

伝票番号 49565

- この領収証は大切に保存してください。
- 毎度ありがとうございます。

東京駅 券402発行
JR東日本

視察等報告書

整理番号 6

会 派 名	翠晴クラブ	報告者氏名	小暮笑鯉子
日 時	令和元年7月29日(月)、30日(火)		
事 項	これからの日本の教育と福祉のあり方 in 東京		
場 所	東京八重洲カンファレンスセンター		
参加者氏名	小暮笑鯉子 (1名)		

(目的・理由・内容)

以下2点を知り、議員活動に活かすため。

- ①大人のひきこもり8050問題、また大人のひきこもりの方による殺人事件が今年多発し、大人のひきこもりの現状と対策
- ②先進国フィンランドにおける福祉：子育て支援、教育：教育改革

《受講講座名》

- ①大人のひきこもり
- ②家庭教育支援から教育改革は切り込め
- ③教育と福祉の先進国フィンランドから学ぶ子育て支援
- ④教育と福祉の先進国フィンランドから学ぶ教育改革

(成果・所感)

●大人のひきこもりの現状について、青ざめる思いでした。ひきこもりは、かつて若者の問題であった。しかし、近年は、厚生労働省の定義年齢を超えた40歳以上のひきこもりが社会問題化している。ひきこもりの数が増えると私達の社会にどんな影響があるのか!? 財政的視点で捉えたとき、これからの社会に大きな影を落とすことが分かった。一番心配なのは、担税力ある市民の減少!そして、そうした方々をサポートするための行政予算の増加。それを少しでも抑えるための、費用対効果の高い政策は、学齢期における不登校や復学支援や居場所づくり、家庭教育支援だそう。

●フィンランドの子育て政策、教育改革、うらやましい限りである。すぐ本市に導入はできないと思った。されど、教師が尊敬され、高収入を得られるような体制を整備しなければ、良い保育・教育は難しいと感じさせられた。

●ひきこもり、不登校も予防が大事。その予防策の1つとして家庭教育支援の大切さを学んだ。家庭教育は全ての教育の基礎となるものと、法律でも明記されている。多様化する家庭環境に対し、地域全体で家庭教育を支える。家庭・学校・地域それぞれが孤立化しているのが現状。特に教育の最小単位の家庭の孤立化は危機的状況である。家庭が地域を活用し、おせっかいなおじちゃん、おばちゃん存在が大事。家庭教育が充実すると地域とのつながり方を親が知り、地域を活用することができる。意識の高い親が増加し、教育力が伸びる。それが、ゆくゆく、ひきこもり・不登校の予防となる。

※ (目的・理由・内容) 及び (成果・所感) は別途報告様式に替えることができる。

なお、(成果・所感) は、参加者全員が記入する。

教育と福祉の先進国フィンランドから学ぶ

これからの日本の**教****育**と



福**祉**のあり方



7月29日(月)

10:00~12:30

大人のひきこもり問題を考える
—— 日本 ——

~40歳以上のひきこもりの現状把握が
された今、議員としてどうすべきか~

- ・日本のひきこもりの現状と課題
- ・もはやひきこもりは若者問題ではない
- ・合理的な社会投資としての若者支援とは

7月29日(月)

14:00~16:30

福祉先進国フィンランドから学ぶ
子育て支援政策

—— フィンランド ——

- ・フィンランドの子育て支援政策の現女王
- ・なぜフィンランドでは切れ目のない
子育て支援が実現されているのか
- ・フィンランドのネウボラの目指す未来

7月30日(火)

10:00~12:30

教育先進国フィンランドから学ぶ
教育政策

—— フィンランド ——

- ・フィンランドの教育政策の現状
- ・日本とフィンランドの学校教育の比較
- ・なぜフィンランドの子どもたちの学力は高いのか

7月30日(火)

14:00~16:30

家庭教育支援から
教育改革は切り込め

—— 日本 ——

~国の有識者会議の委員が解説する最新議論~

- ・日本の家庭教育の現状と課題
- ・文科省の家庭教育支援に関する検討委員会の要点と解説
- ・家庭教育から始まる自治体教育改革

講師 みずの たつろう
水野 達朗



一般社団法人家庭教育支援センターベアレンツキャンプ代表理事、
文部科学省「家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会」委員、
文部科学省「家庭教育支援チームの在り方に関する検討委員会」委員、
大阪府大東市教育委員、「家庭教育支援手法等に関する検討委員会」委員など

不登校の復学支援や予防・開発的な家庭教育支援を精力的に行っている。自治体対象の家庭教育支援プロジェクトなどの社会的支援や、国の家庭教育支援政策、家庭教育の重要性を啓発する講演会やセミナーなども行っている。
著書に、「無理して学校へ行かなくてもいい、は本当か」(PHP研究所2015年10月出版)など。

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

 メール申込み方法

mail@chihogiken.jp

 FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

7月29日(月)

7月30日(火)

10:00
12:30

大人のひきこもり問題を考える
日本

教育先進国フィンランドから学ぶ
教育政策 フィンランド

14:00
16:30

福祉先進国フィンランドから学ぶ
子育て支援政策 フィンランド

家庭教育支援から
教育改革は切り込め 日本

お名前	(フリガナ)	貴議会名	(期目)
電話番号	() -	FAX番号	() -
E-mail	@		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他()		
当日不参加の場合はチェックください	<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) <small>音声データの無断転載等はいらないことに同意して申込みます</small>		

開催
場所

TKP東京駅八重洲
カンファレンスセンター
[4講座同場所] 〒104-8388東京都中央区
京橋1-7-1戸田ビルディング

受講料

1講座 15,000円(税込)
受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。
※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639



東京駅 八重洲中央口より 徒歩5分

赤い「紳士服コナカ」の看板が目印

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとのお相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようくれぐれもご注意ください。